

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	12007	事務事業名	秘書課事務管理費			
担当部・課名	政策推進部 秘書課	評価者(課長)	山本 次雄	評価責任者(部長)	山本 敏明	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	900204	分野	9行政経営	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	2将来を見据えた行政経営			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)その他			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市長、副市長	事業の目的(意図)	市政運営の効率化、円滑化を図り、もって行政サービスの充実を図ること、間接的に市民福祉の向上に寄与する。
事業の内容(手段)	市長、副市長に関する秘書業務及び政策調整業務		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					「共に。カフェ」の実施	市長と市民が直接対話する場づくりを通じ、市民と「共に。」まちづくりを進める。	回
				実績値	7.0	8.0	
				達成度(%)	100.0%	114.3%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	8,086	8,081	7,525	7,535
	うち一財	千円	8,086	8,081	7,525	7,535	7,335
(決算額)	直接事業費	千円	6,523	6,377		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	6,523	6,377		庁舎移転に伴う複写機使用料の移管などによる	市長選挙後の挨拶状印刷代、郵便代の減
	正職員人件費	千円	43,229	43,471			
	人工数	人	5.90	5.90	5.90		
	支出コスト	千円	決) 49,752	決) 49,848			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	市長のリーダーシップの発揮と副市長の行政マネジメントによって、第2次まちづくり総合計画に沿った事業が着実に進められている。公共施設の再配置や庁舎建設、駅ビル整備などの大型プロジェクトや市民と「共に。」進めるまちづくりも目に見える形で進んでいる。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 市民に対して、市長の思いを正確かつ十分に伝え、「共に。」まちづくりを進めていく機運をさらに高めていく必要がある。また、市政運営にしっかり取り組めるようなスケジュール管理と情報管理を行う。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	市長、副市長が公務及び政策判断を適時適切に行うための体制を確保し、事務の効率化を図るとともに、交際費の支出等、予算の適正な執行を行う。	評価責任者コメント	市長が掲げるまちづくりのスローガンである、市民と”共に”進めるまちづくりの具体的な実践活動を計画的に実施している。また、実施内容を市ホームページに掲載し、情報発信も積極的に実施している。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	市長、副市長の秘書業務	市長、副市長が効率的に職務を遂行できる環境を確保する。	市長、副市長のスケジュール管理、運転・随行、交際関係の調整、その他の秘書業務	4,118		3.30	
				否			
②	市長会関係事務	市長会を通じた要望活動により、要望実現を図るとともに、必要な情報収集を行う。	市長会を通した国・県への要望事項の取りまとめ、全国市長会中国支部総会の引き受け開催等	1,704		0.10	
				否			
③	報道対応事務	市政情報の効果的な発信を図る。	毎月の市長定例記者会見、その他の市長発表事項の取りまとめ	55		0.25	
				否			
④	政策調整業務	内部調整を迅速かつ適切に進める。	幹部会議、政策調整会議、市議会一般質問勉強会	498		2.25	
				否			
⑤							